



第五航空艦隊司令部での通信業務の様子

かのや Kanoyaの 取扱説明書

鹿屋のギモンにお答えする



戦後80年シリーズ③ 第五航空艦隊司令部とは？

今年はずいぶん戦後80年の節目を迎えます。本市と戦争の深い関わりがあったことを示す5つの特徴を全4回のシリーズでお伝えします。

第五航空艦隊司令部：特攻作戦を指揮する司令部が鹿屋にあった!?

航空機による特攻作戦が始まった昭和19年10月から数か月後の昭和20年2月10日、どうしても沖縄戦での勝利が必要だった日本軍は、航空特攻部隊「第五航空艦隊」を編成します。宇垣纏司令長官のもと司令部が鹿屋に設置され、特攻作戦の出撃命令がここ鹿屋から発令されていきました。また、海軍だけではなく陸軍の航空特攻も第五航空艦隊の指揮下にあり、鹿屋・串良・国分などの海軍の基地だけでなく、知覧といった陸軍の基地にも出撃命令が出されていきました。

当初、鹿屋基地内にあった司令部



通信をしていたのは女学生？

第五航空艦隊司令部では、鹿屋、高山、末吉、志布志の高等女学校の生徒たちも、「学徒通信隊」として動員されていました。学徒通信隊は、各地の基地とのやり取りや特攻機の出撃状況などの情報収集を24時間交代で行っていました。現在の高校生ほどの年齢で、特攻隊の生死に関わる話を毎日耳にするというのは、想像を絶する体験だったと思います。

は、空襲を逃れるため地下に作られました。作戦立案を行う参謀室や電信室、作戦電話室、暗号室などが設置され、重要部分などの一部はコンクリートで覆い、地下壕の全長は約730mにもなったそうです。地下壕作りは約200人の工員が24時間交代制で行い、さらに脆く崩れやすいシラス台地だったことも追い打ちとなり、地下に司令部を作ることには過酷だったと言われています。

特攻作戦の基地があり、司令部があった鹿屋は、同年3月18日の初空襲以降、軍施設を中心にアメリカ軍から激しい空襲を受けることに。空襲で司令部としての機能を維持できなくなり、7月には大分に司令部は移され、そこで終戦を迎えました。私たちは、日本の命運を握る作戦が鹿屋から発令されていた事実を後世に語り継ぎ、平和について考えることが必要なのではないのでしょうか。

皆さんからの メッセージを募集

広報誌への感想のほか、市へのご意見など多くの情報を、郵送又は二次元コードのご意見フォームからお寄せください。

ご意見の中から抽選で特産品等をプレゼントします。たくさんのご応募お待ちしております！

※掲載時に原稿の一部を手直しする場合もあります。



▲ご意見フォーム

8 9 3 - 8 5 0 1

POST CARD

鹿屋市共栄町20-1
鹿屋市役所 政策推進課
広報KANOKYA「読者のひろば」係 行

85円切手を
お貼りください

お名前／ふりがな

電話番号

ペンネーム ※未記入の場合、イニシャルで掲載します

年齢／性別

歳 男・女

ご住所 □□□-□□□□

プレゼント クイズの答え

要・不要

